

# 理科カリキュラムを考える会 2016 年夏季シンポジウム

## 「教員の多忙化と部活動を考える－理科の充実とチーム学校－」

「OECD 国際教員指導環境調査 (TALIS 2013)」等の調査から、日本の教員が部活動の指導に多くの時間をかけ、それが大きな負担となっていることが明らかにされています。理科教育を充実させるためには十分な研修や教材研究の時間が必要であり、その観点からも部活動をどうしていくかを考えなければいけません。そこで今回は「教育という病－子どもと先生を苦しめる「教育リスク」」(光文社新書)の著者である名古屋大学大学院准教授の内田良氏に、エビデンスに基づいた部活動指導の実情や問題点についてお話を伺います。

また、教員の加重負担の解消について、文科省では「チーム学校」というビジョンを示し、これからの学校の在り方を変えていこうとしています。文部科学省初等中等教育局から安井順一郎企画官をお招きして、その構想や将来像を伺い、学校と教員のあるべき姿について、ともに考えます。

このような取り組みによって教育環境の問題を解消することで、教育方法や授業の内容を常に改善し、教育の質を高めることが可能になります。今回は、全米レベルの科学スタンダードである「次世代科学スタンダード“Next Generation Science Standards(NGSS)”」の内容や取り組みを、全米理科教師協会NSTAの大会に参加した会員から紹介し、時代に合った教育の実現をどのように進めるべきか議論したいと思います。

【日 時】 2016年6月19日(日) 13:00～17:30

【場 所】 東海大学代々木キャンパス2号館1階2B11教室

【主 催】 NPO法人理科カリキュラムを考える会

【共 催】 東海大学教育開発研究センター 【協 賛】 株式会社アルファ企画

【参加費】 500円

【ウェブサイト】 [www.rikakari.jp/sympo/](http://www.rikakari.jp/sympo/) (当日は左記Webサイトで中継します)

【プログラム】 12:30 受付開始

13:00～13:30 開会挨拶・本シンポジウムの経緯説明

NPO法人理科カリキュラムを考える会 滝川洋二 理事長

13:30～15:00 講演「部活動顧問のQOL－先生と子どもの安全・安心を考える」

名古屋大学大学院教育発達研究科 内田 良 准教授

15:15～16:00 講演 「教員の専門性向上とチーム学校」

文部科学省初等中等教育局 安井順一郎 企画官

16:00～17:30 各方面からの意見と議論

アメリカの次世代科学スタンダードNGSSの紹介(本会理事 小川慎二郎)

議論「理科を充実させるためにできることは何か？」

17:30 閉会

【問合せ】 NPO 法人理科カリキュラムを考える会事務局 小川慎二郎 [sympo\(at\)rikakari.jp](mailto:sympo(at)rikakari.jp)

〒177-0044 東京都練馬区上石神井 3-31-1 早稲田大学高等学院内